

独立行政法人 国際協力機構が発行する「JICA 新型コロナ対応ソーシャルボンド」への投資について

2020年12月17日

徳倉建設株式会社

徳倉建設株式会社（代表取締役 徳倉正晴、以下「当社」）は、資産運用を通じた社会貢献と 2015 年に国連が定めた持続可能な開発目標（SDGs）達成への取り組みとして、独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」）が発行する「JICA 新型コロナ対応ソーシャルボンド」への投資を実施いたしました。

「JICA 新型コロナ対応ソーシャルボンド」の発行により調達された資金は、開発途上国における新型コロナウイルスを含む感染症対策（保健医療システムの整備、水・公衆衛生環境の改善）及び新型コロナウイルス感染拡大により経済的影響を受けた開発途上国の中小企業等向けの金融支援を目的とする有償資金協力事業に充当される予定です。

JICA が発行する債券への投資は、開発途上国の貧困削減・持続可能な経済成長支援を後押しする観点、また、地球規模の環境問題・社会課題の解決に貢献することで持続可能な国際社会造りにつながるという観点から、ESG 投資としての性格・意義を有しています。

今後も、当社はその公共性・公益性に鑑み、持続可能な社会の形成に向けた社会的責任を果たしていきたいと考えております。

以上